

中島村
第6次総合振興計画

2024年度(令和6年度)

事業評価

中島村第6次総合振興計画 2024年度（令和6年度）評価一覧表

◎本事業評価は、2025年度（令和7年度）に実施しました。

◎評価は一次～三次の順に行っています。

一次評価・・・役場各部署職員。

2025年3月3日～4月11日

二次評価・・・施策評価委員会（副村長、教育長、役場各課長等）。

2025年6月17日

三次評価・・・総合開発審議会（村外部機関の長等）。

2025年7月24日

◎評価はA～Cの三段階です。

●総合評価・・・事業の有効性、社会経済情勢の変化に基づき、以下の基準で判断する。

A（順調）

おおむね期待どおりの成果が得られており、特に問題等もなく順調に進んでいる事業。

B（改善の余地あり）

目標達成に向けて遅れがみられる、又は、事業の一部に改善の余地がある事業。

C（見直し必要）

目標達成に向けて大幅な遅れが見られる、又は、事業内容を大きく見直す必要がある事業。

【基本目標 1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら】

施策 番号	施策	個別 番号	個別事業	主幹課 担当課	個別 評価	1 次 評価	2 次 評価	3 次 評価
1	子育て支援の推進			保健福祉課				
		①	相談体制の充実	保健福祉課	A	A	A	A
		②	子育て事業の周知	保健福祉課	A			
2	子育て家庭の負担軽減			学校教育課				
		①-1	保育料等無料化事業	保育所	A	A	A	A
		①-2	保育料等無料化事業	幼稚園	A			
		②	給食費無料化事業	幼稚園	A			
		③	ひとり親家庭医療費 助成事業	保健福祉課	A			
3	保育所の充実			保育所				
		①	保育所施設の整備	保育所	A	A	A	A
		②	ICT 関係の導入	保育所	A			
		③	地域子育て支援事業	保育所	A			
		④	保育士の資質向上	保育所	A			
4	教育活動の充実・支援			学校教育課				
		①	確かな学力を育む教育の推進	学校教育課	A	A	A	A
		②	豊かな心を育む教育の推進	学校教育課	A			
		③	健やかな体を育む教育の推進	学校教育課	A			
5	国際理解教育の推進			学校教育課				
		①	マレーシアへの修学旅行	学校教育課	A	A	A	A
		②	異文化体験学習	学校教育課	A			
		③	外国語指導助手の配置	学校教育課	A			
6	安全・安心な学校施設の整備と教育環境の充実			学校教育課				
		①	各教育施設の修繕改修	学校教育課	A	A	A	A
		②	大規模改修計画	学校教育課	A			
		③	プールの安全管理	学校教育課	A			

7	幼児教育の充実			幼稚園			
		①-1	幼・保・小の連携・ 接続	幼稚園	A	A	A
		①-2	幼・保・小の連携・ 接続	保育所	A		
		②	幼児教育の充実	幼稚園	A		
		③	教育環境の整備充実	幼稚園	A		
		④	教職員の資質向上	幼稚園	A		
8	子どもの健全育成を 目指す児童館運営の充実			児童館			
		①	児童クラブの充実	児童館	A	A	A
		②	子育て支援・体制交 流活動の充実	児童館	A		
		③	学習支援の充実	児童館	A		
		④	職員の資質向上	児童館	A		
9	自己を磨き続ける生涯 学習活動の推進			生涯学習課			
		①	社会教育団体・文化 団体等への活動支援	生涯学習課	A	A	A
		②	学習機会の拡充と学 習内容の充実	生涯学習課	A		
		③	文化活動の推進	生涯学習課	A		
		④	地域・学校・家庭の 連携とボランティア 活動の推進	生涯学習課	A		
10	生涯学習環境の整備・充 実			生涯学習課			
		①	生涯学習センター輝 ら里の適正管理・有 効活用	生涯学習課	A	A	A
		②	各種イベント開催に 対応した施設整備	生涯学習課	A		
		③	生涯学習情報の提供	生涯学習課	A		
		④	図書室の利用促進	生涯学習課	A		

11	文化財保護と伝統文化の継承			生涯学習課			
		①	文化財の保護と村民への周知	生涯学習課	A	A	A
		②	伝統文化の継承活動支援	生涯学習課	A		
		③	四穂田古墳出土品の活用	生涯学習課	A		
12	生涯にわたるスポーツライフの推進			生涯学習課			
		①	スポーツ指導者の育成	生涯学習課	A	A	A
		②	地域スポーツ活動の推進	生涯学習課	A		
		③	スポーツ施設の整備・改修	生涯学習課	A		
13	人材育成の推進			企画振興課			
		①	人材育成支援事業	企画振興課	B	A	A
		②	人材育成事業	企画振興課	A		

【基本目標２ みんながいきいき暮らせるむら】

14	健康づくりの推進			保健福祉課			
		①	各種健診及び検診の実施	保健福祉課	A	A	A
		②	健康意識の高揚	保健福祉課	A		
		③	受診勧奨、保健指導の充実	保健福祉課	A		
15	豊かなシニアライフ			保健福祉課			
		①	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定	保健福祉課	A	A	A
		②	介護予防事業の推進	保健福祉課	A		
		③	ふれあいサロン事業	保健福祉課	A		
		④	地域包括ケアシステムの充実	保健福祉課	A		
16	障がい者への支援			保健福祉課			
		①	適正な福祉サービスの提供	保健福祉課	A	A	A
		②	障がい者への情報発信	保健福祉課	A		
17	見守りの強化・支援			保健福祉課			
		①	見守りネットワーク体制の確立	保健福祉課	A	A	A
		②	成年後見制度の利用支援	保健福祉課	A		
		③	家族介護への支援	保健福祉課	A		
		④	福祉相談活動の充実	保健福祉課	A		

【基本目標３ みんなで作り上げるむら】

18	地域コミュニティの活性化			住民生活課				
		①	行政区加入推進活動	住民生活課	A	A	A	A
		②	行政区運営にかかる助成	住民生活課	A			
19	村民の行政参画			総務課				
		①	パブリックコメントの募集	総務課	A	A	A	A
20	行政サービスのＤＸ			総務課				
		①	中島村ＤＸ基本方針の策定	企画振興課	A	A	A	A
21	職員の人材育成			総務課				
		①	人事評価制度の活用	総務課	A	A	A	A
		②	職員研修の充実	総務課	A			
22	健全な財政の維持			総務課				
		①	納税者が納税しやすい体制整備	税務課	A	A	A	A
		②	ふるさと納税の拡充	企画振興課	A			
23	男女共同参画			総務課				
		①	女性委員（役員）の積極的な登用		A	A	A	A

【基本目標 4 安全・安心して暮らせるむら】

24	防災体制の充実			住民生活課			
		①	防災情報発信手段の充実	住民生活課	A	A	A
		②-1	ハザードマップで危険箇所指定されている箇所への対応	住民生活課	B		
		②-2	ハザードマップで危険箇所指定されている箇所への対応	建設課	A		
		③	防災組織・協力関係の強化	住民生活課	A		
		④	防災用品等の拡充	住民生活課	A		
25	消防体制の確立			住民生活課			
		①	消防体制の維持・強化	住民生活課	B	A	A
		②	消防設備更新	住民生活課	A		
		③	各種災害訓練	住民生活課	A		
26	防犯・交通安全の充実			住民生活課			
		①	防犯施設整備	住民生活課	B	B	B
		②	防犯意識の高揚	住民生活課	A		
		③	交通安全対策	住民生活課	B		
27	医療体制の確保			保健福祉課			
		①	救急医療体制の充実	保健福祉課	A	A	A
		②	県南地方の医師確保	保健福祉課	A		
28	風評被害払拭			住民生活課			
		①	自家消費野菜等放射線量測定事業	住民生活課	A	A	A
		②	ブランドイメージ回復支援事業	企画振興課	A		

【基本目標5 環境豊かで快適な住みよいむら】

29	道路の整備			建設課			
		①	道路の整備	建設課	A	A	A
		②	歩道（通学路）の整備	学校教育課	A		
		③	県道（バイパス）整備の推進	建設課	A		
		④	農道長寿命化事業	建設課	A		
		⑤	道路・橋梁の維持管理	建設課	A		
30	簡易水道施設の維持管理			建設課			
		①	簡易水道施設の維持管理	建設課	A	A	A
		②	施設機器等の計画的な更新	建設課	A		
		③	水道本管等の漏水調査・更新	建設課	A		
		④	第三水源（井戸水）及び浄水場の維持管理	建設課	A		
31	農業集落排水処理施設の維持管理			建設課			
		①	農業集落排水処理施設の維持管理	建設課	A	A	A
		②	処理施設等機器の計画的な更新	建設課	A		
		③	不明水対策等の実施	建設課	A		
32	童里夢公園の整備・活用			建設課			
		①	遊具の点検、修繕	建設課	A	A	A
		②	設備の計画的な修繕	建設課	A		
		③	遊歩道の整備	建設課	A		
33	農村公園及び地区公園の整備			建設課			
		①	農村公園・地区公園の活用	建設課	A	A	A

34	住宅環境の整備			建設課				
		①	耐震診断者派遣事業の活用	建設課	A	A	A	A
		②	公営住宅長寿命化計画による計画的な修繕	建設課	A			
35	地域交通体制の充実			住民生活課				
		①	デマンド交通の住民への周知	住民生活課	A	A	A	A
		②	デマンド交通利用者アンケート実施	住民生活課	A			
36	環境への取り組み			住民生活課				
		①	ごみの減量化・リサイクルの促進	住民生活課	A	A	A	A
		②	生垣整備事業	企画振興課	B			
		③	記念樹交付事業	企画振興課	A			
37	移住・定住の促進			企画振興課				
		①	移住定住 PR パンフレット作成業務	企画振興課	A	A	A	A
		②	福島県移住支援金給付事業	企画振興課	B			
38	移住・定住環境の整備			建設課				
		①	空き家調査	建設課	B	A	A	A
		②	空き家バンクの導入	建設課	A			
		③	原山分譲地の販売	建設課	A			

【基本目標6 地域の活力を活かしたむら】

39	土地の有効利用			企画振興課				
		①	国土利用計画の見直し	企画振興課	B	A	A	A
		②	農業振興地域整備計画の見直し	企画振興課	A			
		③	地域森林計画の見直し	企画振興課	A			
40	農業の支援・振興			企画振興課				
		①	多様な担い手の確保・育成	企画振興課	B	A	A	A
		②	地域計画（人・農地プラン）	企画振興課	A			
		③	農地流動化対策の推進	企画振興課	A			
41	有害鳥獣への対応			企画振興課				
		①	有害鳥獣駆除	企画振興課	A	A	A	A
		②	担い手の育成	企画振興課	A			
		③	有害鳥獣被害防止の支援	企画振興課	A			
42	企業誘致と雇用の確保			企画振興課				
		①	企業誘致の推進	企画振興課	B	A	A	A
		②	既存企業との連携強化	企画振興課	A			
43	商業の支援			企画振興課				
		①	村内外から集客できる魅力ある商店づくりの支援	企画振興課	A	A	A	A
		②	商業の支援	企画振興課	A			
44	観光基盤の整備			企画振興課				
		①	観光基盤の充実や誘客の推進	企画振興課	A	A	A	A
		②	特産品の開発	企画振興課	B			

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策1 子育て支援の推進
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2024年度の取り組み

- 母子健康手帳交付、離乳食教室、乳幼児健診（4か月児・1歳6か月児・3歳児）、乳幼児健康相談（9～10か月児・2歳児）等で相談業務を実施した。出産応援交付金を支給した。
- 子育てに関するリーフレット等の配布により、子育て支援事業の周知を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 相談業務により、相談者の不安や悩みをその都度解決したり、軽減することができた。継続して相談する方もいて、切れ目のない支援を実施することができた。出産・子育て応援交付金、不妊治療助成も行っている。
- 支援を必要としている人に、支援事業を利用してもらうため、引き続き周知を行っていく。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
心理相談・乳幼児健診等相談業務	1,271		
出産応援交付金	2,700		
		合計	3,971

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 今後も相談業務を実施し、切れ目のない支援を継続していく。
- 他市町村で取り組んでいる、自治体独自の子育てに関するガイドブックの作成を検討する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策2 子育て家庭の負担軽減
施策主幹課	保健福祉課
関係課	学校教育課、保育所、幼稚園

2024年度の取り組み

- 保育料の無料化により、子育て世帯への経済的支援を行った。
- 幼稚園の保育料（預かり保育料等）無料化。
- 中島村在住の保護者を対象に、村内の幼稚園、小学校、中学校に通う児童生徒の給食費を無料とした。
- 村外の幼稚園、小学校、中学校に通う児童生徒の給食費に対して補助金を交付する施策を展開。
- ひとり親家庭への医療費助成を行った。

施策の評価	総合評価	A
-------	------	---

- 保育所入所児童56名（全世帯）の保護者負担を軽減することができた。
- 幼稚園の保育料（預かり保育料等）無料化を継続して実施し、子育て家庭への負担軽減を図ることができた。
- 受益者にとってこの施策は大きなメリットであるため、今後も継続していきたい。
- 村税等の滞納がないことを条件とするため、村税等の納付促進にも寄与している。
- ひとり親家庭への医療費助成により、健康と福祉の増進が図られた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
保育料の無料化	8,556	ひとり親家庭医療費助成	755
幼稚園保育料等の無料化	824		
給食賄材料費	34,197	合計	44,332

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 保育料の無料化を継続し、子育て世帯の負担を軽減する。
- 引き続き、産み育てる環境や働きやすい環境づくりの推進をしていく。
- 子育て家庭への経済的支援として、幼稚園保育料等の無料化を継続していく。
- ひとり親家庭は増加傾向であるが、引き続き助成事業を継続し、健康と福祉の増進及び経済的支援に努めていく。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策3 保育所の充実
施策主幹課	保育所
関係課	

2024年度の取り組み

- 月1回、安全点検と避難訓練の実施。
- 外部講師を招き職員の防犯研修の実施や入所児対象の交通安全教室実施。
- コドモンアプリを導入し、保育所のおたより全般（感染症の状況、お弁当等のお知らせなど）に活用した。
- デイサービス訪問を実施し、高齢者との交流を図った。
- 登録していない児童の一時預かり利用について、保護者の通院や幼稚園や小学校の行事など、保護者のニーズに応じて対応してきた。
- キャリアアップ研修会や、地区の研修会など自発的に出席した。また、研修後は会議等で研修内容の伝達を実施している。
- 年2回、職員の自己評価を実施し、その結果を保護者へ公表した。

施策の評価	総合評価	A
-------	------	---

- 不審者侵入防止のため生垣にネットを張り、子ども達の安全な環境作りに配慮してきた。また、子ども達向けに「ふくしまキッズマンの交通安全教室」を実施したことで、交通ルールを学ぶことができた。
- 災害が起きた際に活用するために「防災用プロパンガス発電機」を購入した。
- 感染症の状況について、保護者へいち早く情報を提供することができ、感染症の蔓延を防ぐことができた。
- コドモンアプリの活用でおたよりを配信することにより、紙の消費軽減につながった。
- 高齢者との交流は、新鮮で、お互いにより刺激となっている。
- 年間で一時利用の登録を実施していることで、急な利用でも対応でき、保護者支援につながった。
- 2026年度より「こども誰でも通園制度」が予定されていることから、一時利用と親子での自由来所など登録していない家庭への利用について検討していく必要がある。
- それぞれ、自己課題に沿った研修に参加し、更に、研修受講後の伝達を実施することでスキルアップにつながっている。また、古い情報から現時点の新しい情報を得る事ができている。
- オンライン研修も増えていることから、研修も受けやすくなっている。職員17名中14名の職員が研修を受講した。
- 自己評価を実施したことで、保育の振り返りができ、より良い保育につながっている。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
防災用プロパンガス発電機購入	237		
中島保育所保育システム（コドモン）	66		
一時預かり事業の無料化	130	合計	433

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 引き続き点検を実施しながら安全対策を実施するとともに、災害時の対応として必要な用品等を購入し、万が一に備えていく。
- コドモンについて更に幅広い対応ができるように利便性を図っていく。（連絡帳機能の活用、写真販売等）
- 高齢者との交流については、計画的に進めていく。
- 保育所の一時利用について、定期的な利用者がいるため保護者のニーズに対応しながら継続的に実施していく。また今後「こども誰でも通園制度」が 2026 年度から予定されていることから、対応に向けて検討していく。
- 引き続き、研修会の内容を周知し、全員が積極的に受講できる体制を作っていく。
- また、研修の伝達を実施していくことで、保育の質の向上を図っていく。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策4 教育活動の充実・支援
施策主幹課	学校教育課
関係課	

2024年度の取り組み

- 5/7 第1回中島村学力向上推進会議 輝ら里 12名参加
- 6/24~25 学力向上推進事業 教員等研修視察 秋田県大館市 5名参加
- 7/16 算数・数学学力向上研修会 学芸大附属世田谷小学校教諭稲垣悦子氏 36名参加
- 8/19 教育講演会 秋田県大館市より講師3名、35名参加
- 9/18 第2回中島村学力向上推進会議 輝ら里 6名参加
- 10/23 師範授業・講演 筑波大学附属小学校 盛山隆雄教諭 35名参加
- 11/8 学力向上推進研修会 秋田大学・東京未来大学教授 阿部昇氏 35名参加
- 1/24 第3回中島村学力向上推進会議 輝ら里 12名参加
- 〔人権教育出前授業〕滑津小、吉子川小、中島中それぞれで、いじめが最大の人権侵害であることなどを学習。
- 〔四穂田古墳出土品歴史学習〕県立博物館学芸員による、四穂田古墳やその出土品短甲試着等の体験授業を実施。
- 〔郷土学習〕四穂田古墳、富士工業、下水処理場見学を実施。
- スポーツフェスティバルへの参加。
- 栄養教諭と養護教諭による食育の授業、テーブルマナーなどのユニークな取り組みや給食センターを訪問し、実際に調理場及び調理の現場を見学することで食への関心を持たせ、食と体と健康の関係を学習させた。
- 中学校においては今年度10回、(株)日本実業から講師を招聘し運動指導を実施した。また、部活動にも力を入れ、各競技で県大会や東北大会出場なども果たした。

施策の評価

総合評価

A

- 〔研修視察〕現場の教員、保護者の代表が、直接学力向上の先進県である秋田県を視察することにより、個人の実践ではなく学校の体制が、学校としての学力向上につながっていることを実感でき、共通実践事項の策定につながった。
- 〔師範授業・講演〕模範となる授業を実際に見て、特に子どもが発表した後それを取り上げ、どのように課題解決につなげていくか「問い返し」について具体的に学ぶことができた。
- 〔課題と要因〕各研修の知見を広めるために共通実践事項を設けている。各学校の体制の違いから温度差も感じられるが、重点化しての取り組みを指示している。
- いじめについて、日常の指導に加えて、外部の方からも「人権」という観点から指導いただくことでいじめは絶対にいけないものであるという意識をより強く認識させる方策となった。
- 6/25 中島村いじめ問題対策連絡協議会開催 16名参加
- 体験活動がより豊かな道徳性を養うというデータがあり、郷土の歴史や郷土を知る体験を通して、郷土に誇りを持つ意識と道徳性が向上している。
- 行事をもつことで、楽しみが増え、子どもたちがより「学校に行くのが楽しい」と思える効果がある。
- 給食センターの見学は、幼稚園から3年をスパンに学年を指定して実施しており、食に対する興味と理解、個々の成長が計れる。
- これらの事業は即時に結果はでないものの、継続して続けることにより個人では幼稚園から中学校までを通して、世代では先輩から後輩へ食育と体育、食に対する理解の涵養と体の育成に寄与できるものである。

事業実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
学力向上推進事業教員等研修視察	235	運動指導	100
中島村学力向上研修会	220	部活動県大会等補助金	2,723
師範授業及び教育講演会	55		
中島村学力向上推進研修会	110	合計	3,443

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
「学校に行くのは楽しいと思いますか」全国学力テスト結果（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）（小学校）（％）	目標値	93.0	93.2	93.5	93.7	94.0
	実績値	72.3	97.2			
	達成度	77.7%	104.3%			
「学校に行くのは楽しいと思いますか」全国学力テスト結果（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）（中学校）（％）	目標値	72.7	73.0	73.2	73.5	73.7
	実績値	88.8	84.8			
	達成度	122.1%	116.2%			
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」（小学校）（％）	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績値	98.1	100.0			
	達成度	98.1%	100.0%			
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」（中学校）（％）	目標値	98.2	98.4	98.6	98.8	99.1
	実績値	100.0	97.0			
	達成度	101.8%	98.6%			
「自分には良いところがあると思いますか」（小学校）（％）	目標値	98.3	98.5	98.7	98.9	99.1
	実績値	84.3	97.2			
	達成度	85.8%	98.7%			
「自分には良いところがあると思いますか」（中学校）（％）	目標値	70.9	74.0	78.0	82.0	85.4
	実績値	72.2	85.0			
	達成度	101.8%	114.9%			

今後の取組

- 現在の内容で研修を継続し、研修で得たことを共通実践事項として、全員が実践を行うよう啓発を図る。また、校内研修等での授業参観を通して実践状況を確認する。
- いじめ問題について関係各所が連絡調整を行う「いじめ問題対策連絡協議会」については毎年開催。いじめが起きた場合に調査等を行う「いじめ問題専門委員会」については隔年で開催し、常にいじめの防止に向けての体制の確認・いじめ防止基本方針の見直しを行うとともに、認知した場合速やかな対応ができるよう体制を整える。
- 今後も運動指導を取り入れ、また部活動の支援などと給食センターを軸にした食育を実施していく。

基 本 目 標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施 策 名	施策 5 国際理解教育の推進
施策主幹課	学校教育課
関 係 課	

2024 年度の取り組み

- 昨年度に引き続き、マレーシアへの修学旅行を実施した。
- 小学校 6 年生、中学校 1～3 年生を対象に、ブリティッシュヒルズにて異文化体験活動を行った。
(小学校 6 年生は一泊、中学生は日帰りで実施)
- 外国語指導助手を 2 名配置することによって、各学校での英語教育の充実化を図った。

施 策 の 評 価

総合評価

A

- 教育委員会の事前視察を基に数回保護者への説明を行い、実施の承諾を得ることが出来た。
- 修学旅行に参加した生徒たちからは「行ってよかった」、「外国に興味を持った」などの意見が多数聞かれ、国際社会への興味関心の向上が見て取れた。
- 天栄村にあるブリティッシュヒルズでの異文化体験活動を小学 6 年生から中学 3 年生までの 4 年間に於いて実施し、英語によるコミュニケーション能力の育成を図っている。
- 毎年異文化体験学習を実施することにより段階的に英語に慣れ親しみ、中学 3 年時のマレーシア修学旅行の交流会で英会話が実践できることを長期的な目標としている。英語学習への意欲が見て取れた。
- 外国人指導助手を配置することによって、小・中学校で行われる外国語教育の充実へと繋がった。

事 業 費 実 績 額

事 業 内 容	事業費 (千円)	事 業 内 容	事業費 (千円)
中島中学校海外修学旅行補助金	9,994	中学校異文化体験学習委託料等	2,153
修学旅行引率者委託(教育委員会)	295	ALT 設置費用	4,300
小学生異文化体験活動	1,688	合 計	18,430

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
マレーシアでの研修は有意義であったかのアンケート満足度（%）	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績値	97.3	97.2			
	達成度	108.1%	108.0%			
外国語指導助手配置（人）	目標値	2	2	2	2	2
	実績値	2	2			
	達成度	100.0%	100.0%			
異文化体験学習（回/年）	目標値	4	4	4	4	4
	実績値	4	4			
	達成度	100.0%	100.0%			

今後の取組

- 今後もマレーシアへの修学旅行を実施し、グローバルな感性を持てる人材育成を行う。
- 今後も継続してブリティッシュヒルズでの体験活動を実施し、英語に慣れ親しむ機会の提供及び英語によるコミュニケーション能力の育成に努める。
- 今後も継続して外国語指導助手を確保・配置に努め、英語教育の充実に努める。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策6 安全・安心な学校施設の整備と教育環境の充実
施策主幹課	学校教育課
関係課	

2024年度の取り組み

- 各学校において、校舎内外、設備、外構など施設全体のいたるところの修繕や改修を行った。
- 小学校及び幼稚園において防犯対策施設整備工事を実施した。
- 滑津小学校において、南側法面改修工事を実施した。
- 吉子川小学校において、校庭暗渠工事を実施した。
- 幼稚園において、園舎改修工事を実施した。
- 中学校の大規模改修事業は実施に至らなかった。
- 今年度も吉子川小学校では、プール開きの前にプール水槽のケレンを行い、怪我などの事故が発生しないような手入れを講じた。
- 中島中学校でも、劣化による塗装の剥離が生じているプール底面の手入れを行った。

施策の評価

総合評価

A

- 警察直通の通報装置や防犯カメラ、校内インターホンを設置して通信網、防犯対策を向上させた。
- 法面の崩落を事前に防ぐことが出来た。
- 暗渠の設置により雨水排水が促され、降雨後の校庭利用がスムーズになった。
- 塗装により園舎壁面、テラスなどを保護した。
- 本村も少子化が進んでおり、現行規模の学校施設が必要であるか、子供の数に反比例し時間の経過とともに老朽化していく施設の維持に要する経費は嵩んでいくことなどを考慮し、今後の学校施設の在り方や施設の維持について検討が必要である。
- 吉子川小学校プールについては根本的な解決策がないため、毎年のチェックと事前対策が重要である。
- 中島中学校についても、プールサイド修繕の要望が出ているため、今後状況に応じた対応を取っていく。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
防犯対策施設整備工事（3校）	4,758	吉子川小学校プール安全対策工事	328
南側法面改修工事	22,660	中島中学校プール安全対策工事	330
校庭暗渠工事	1,210		
園舎改修工事	11,000		
FF 暖房機更新工事（小学校）	3,432	合計	43,718

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
中学校大規模改修	目標値	100	—			
	実績値	100	—			
	達成度	100.0%	—			

今 後 の 取 組

- 学校のみならず近隣の安全面にも配慮した学校運営を行っていく。
- 園舎等の定期的な調査及びメンテナンスを行い、長寿命化を図っていく。
- 大規模改修ではなく必要な箇所の修繕を実施していき、現状の施設運営を行っていく。
- 昨今、学校プールの在り方について議論されており、少子化や維持費などの問題に対して集約化や他施設の利用などが挙げられているため、本村においても検討していく。
- 当面、自校プールを使用していくので、安全対策を怠らないよう注意する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策7 幼児教育の充実
施策主幹課	幼稚園
関係課	保育所、学校教育課

2024年度の取り組み

- 幼稚園・保育所・小学校との交流や情報の共有
- 合同研修会や授業参観等をととして、校種間連携
- 教育委員会主催の特別支援教育研修会へ参加。
- 2歳児が幼稚園へ訪問し、遊ぶ機会をつくった。
- 幼稚園就園前の2歳児について、情報共有の実施。
- 日々の保育活動や体験活動の充実。
- 地域の資源や人材等の活用した保育活動。
- 専門講師を招聘しての保育活動。
- ICT機器を活用しての保育活動。
- 安全性と価値の高い環境の整備。
- 教材教具の充実。
- 先進園視察や研修の充実。
- ゲストティーチャーを活用。
- 小・中学校との合同研修や各種会議への出席。

施策の評価

総合評価

A

- 幼保小との情報交換や交流会を通して、共通の考え方や指導体制等発達や学びの連続性を確保することができた。
- 幼小との連携で「支援を必要とする子どもへの理解と対応」について情報共有を図ることで、それぞれの立場で今後活かして行ける知識を得ることができた。
- 幼稚園訪問によって、子ども達の不安を取り除き、期待感を膨らませることができた。また、情報を共有することで、切れ目のない保育につながってきている。
- 年間計画に基づいた自然・社会体験活動を実施し、豊かな感性と規範意識の醸成を図ることができた。
- 地域人材を活用して保育活動を行うことで、教育活動の充実と特色ある幼稚園づくりができた。
- 英語教材を導入し、幼児期から楽しみながら英語に親しむことができると共に、リスニング力を養うこともできた。
- 発達段階に合った知育玩具を活用することで、園児の思考力や想像力等多くの学びを経験することができた。
- 計画的な施設修繕を実施し、安全な教育環境整備に努めた。
- 先進園視察をし、そこからの学びを園の教育に活かし職員の指導力の向上が図られた。
- 様々なゲストティーチャーを活用して、幼児教育の充実や教師の指導力向上に努めた。
- 園内研修の中で教材の研究や外部研修にも積極的に参加し、資質向上に努めた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
専門講師招聘	95	教材教具	1,199
体験活動	880	研修の充実	109
施設整備工事	13,442	合計	15,725

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
自然体験・社会体験活動 (回/年)	目標値	9	9	9	9	9
	実績値	9	11			
	達成度	100.0%	122.2%			
郷土教育の実施回数 (回/年)	目標値	1	1	1	2	2
	実績値	1	1			
	達成度	100.0%	100.0%			
幼保小の情報交換会 (回/年)	目標値	5	5	5	5	5
	実績値	5	5			
	達成度	100.0%	100.0%			

今後の取組

- 幼児期における発達や学びの連続性を確保するために、保育所・小学校との連携・交流に努める。
- 定期的な交流ができるように、計画的に進めていく。
- 子どもの興味・関心・発達段階に即した指導を工夫し、学年の終わりまでに育てほしい姿に近づくよう、環境や遊びを通した総合保育活動の充実に努める。
- 幼稚園教育は環境を通して行われることから、園舎等の維持管理に努め安心・安全な環境を整備すると共に、価値の高い教材教具の充実に努める。
- 質の高い保育活動を行うために、自己研修や先進園視察、ゲストティーチャーの活用、小・中学校との連携による研修会等により、指導力及び資質の向上に努める。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策 8 子どもの健全育成を目指す児童館運営の充実
施策主幹課	児童館
関係課	

2024年度の取り組み

- 日中保育する者のいない家庭の小学生（1～6年生）を対象に事業を実施した。各種感染症対策等、児童館の施設を有効活用しながら適切な遊び場や学習の場を与えて健全育成を図るとともに、保護者や小学校との連携を図りながら、個々の育ちの状況を理解し個々に応じた育成支援を展開してきた。
- 2024年度入所児童数 100名（4/1現在）
- 途中登録児童数 5名
- 一時利用児童件数 259件（登録者数 30名）
- 小学生対象の「中島ジュニアクラブ」と、未就学児対象の「なかじまキッズクラブ」を通し、村内探検、ボウリング大会、キンボール体験、パステルアート教室、リトミック教室、体操教室など、様々な体験活動を実施。
- 学習支援の3つの柱である①年間を通した学習支援（放課後児童クラブと中島ジュニアクラブの学習支援）、②長期休業中の学習支援（小4～6、中1～3）、③土曜学習による学習支援（中3対象）を児童館と村の施設を有効活用して、地域の方々や近隣の高校生や大学生ボランティアの協力を得ながら、充実した事業を展開できた。参加した児童・生徒に「参加して良かった」「集中して課題に取り組めた」という感想が聞かれるなど、大きな成果を上げることができた。
- 職員の資質向上を図るために各種講習会に参加した。

施策の評価

総合評価

A

- 下校時間が遅くなり留守番できるようになったため等の理由で、一時的保育への切り替えをする児童が多かった。一時的保育の実利用児童数は26名だった。
- 生活スケジュールに基づき支援を行うことにより、基本的な生活・学習習慣の形成と社会性の醸成を図ることができた。
- 親子や他校児童との交流、異年齢交流、地域の方々との充実した活動が地域の多くのボランティアの協力のもと行うことができ、子ども達やボランティアに参加した生徒の豊かな情操を育むことができた。また、高齢者との活動（スカットボール体験）を体験することができた。
- 小・中学生のニーズに合った学習支援を展開することができた。
- 特別支援研修会、AED講習会、不審者対応講習会に参加し、資質向上を図ることができた。今後とも有事の際において冷静に的確にそして迅速に対応できるよう、各種講習会を受講することで職員のスキルアップをしていきたい。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
子ども子育て支援国庫補助金 (放課後児童健全育成事業)	7,449	中島ジュニアクラブ・なかじまキッズ クラブ講師謝礼	176
子ども子育て支援県補助金 (放課後児童健全育成事業)	7,449	学習支援事業(小中学生合算)	1,737
		各種研修会参加費	9
児童館体験事業	245	合計	17,065

事業業績評価指数(KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
児童クラブでの体験交流 活動(回/年)	目標値	25	25	25	25	25
	実績値	20	20			
	達成度	80.0%	80.0%			
小学生及び未就学児体験 交流活動(回/年)	目標値	25	25	25	25	25
	実績値	25	25			
	達成度	100.0%	100.0%			
学習会の満足度アンケート (%)	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績値	87.6	90.2			
	達成度	109.5%	112.8%			

今後の取組

- 児童クラブ運営の質的向上を図るための、運営内容の見直しと検討。
- 各種感染症対策に対応した事業展開。
- 児童館ならではの体験交流活動の実施についてさらに検討する。
- 小中学生の学習意欲の向上・継続に向けた運営の工夫、改善。
- 学習支援の地域ボランティアの発掘と、継続して参加したいと思えるような活動内容の工夫。
- 各種感染症対策の継続。
- 児童館職員の質的向上を図るために、各種研修会に参加する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策9 自己を磨き続ける生涯学習活動の推進
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2024年度の取り組み

- 中島村文化団体連絡協議会の各団体に対する活動支援を行った。
- 文化講演会は通常どおり開催している。
- コロナ禍の影響が無くなり、各種教室を通常どおり開催。
- 11月2～3日の2日間、村民文化祭を開催した。コロナ禍の影響もなくなり気軽に文化に触れることができる環境となった。
- 生涯学習センター輝ら里エントランスの一角に「村民ギャラリーコーナー」を設け、各種団体・個人作品の展示を定期的に行った。
- 子供教室等に地域の方々が講師やボランティアとして参加した。
- 人材バンク登録者の見直し（更新）と募集を実施した。
- 地域と学校の連携を強化する体制づくりとともに、学校支援員等の活用により学力の向上を図った。

施策の評価

総合評価

A

- 1年間の活動の成果を発表する各団体参加の芸能発表会は、コロナ禍後は通常開催ができた。
- 文化講演会は基本的感染症対策を行ったが通常開催となり、多くの来場者が訪れ好評を博した。
- 村民文化祭は新型コロナウイルス感染症の影響が無くなり、昨年とほぼ同様の出品数であり、すべての部門の作品が充実し、参加者・来館者からは大変喜ばれた。
- 「村民ギャラリーコーナー」は、各種団体・個人作品の展示を定期的に行うことにより、作品発表の新しい機会となった。
- 図書室ボランティア、書道や絵画の講師の活動に地域の人材を積極的に活用することが出来た。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
文化団体連絡協議会補助金	430	村民ギャラリー展示事業費	18
文化講演会	991	子ども教室謝金	26
各種教室講師謝金	306	学校支援員賃金	20,051
村民文化祭事業費	556	合計	22,378

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
新たな公民館事業回数 （回/年）	目標値	2	2	2	3	3
	実績値	2	0			
	達成度	100.0%	0.0%			
公民館事業（ナイスレディ、クラフト、書道、絵画、英会話）の 事業回数（回/年）	目標値	62	64	66	68	71
	実績値	80	95			
	達成度	129.0%	148.4%			

今後の取組

- 会員の高齢化により文化団体が減少している。新規団体を増やす方策を検討する必要がある。
- 各教室への参加者を増やすため、村民のニーズにあった各講座、教室や内容を検討する。
- 各種事業開催の際は、コロナ禍の影響が無くなってはいるが基本的な対策は必要である。
- 出品数や出展数は増えたが、出品者が固定化し、高齢化傾向にある。若者の参加者が増えるような取組の工夫が必要である。
- 中島村社会福祉協議会のボランティアセンターと協議しながら、人材ボランティアを増やす方策を検討する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策10 生涯学習環境の整備・充実
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2024年度の取り組み

- 生涯学習センター「輝ら里」施設としては、コロナ禍後についても感染症の流行状況に応じた予防対策を行い、また、住民ニーズ及び利用者の安全に配慮した安全対策・補修等を実施している。
- 生涯学習センター輝ら里駐車場の白線引き直し工事等の施設の環境整備を行った。
- 生涯学習センター「輝ら里」等施設において手指消毒等の基本的感染対策は継続して行っている。
- 施設駐車場における防犯対策として、防犯カメラを2基設置した。
- 生涯学習情報については、中島村ホームページや広報なかじまの「生涯学習つうしん」、図書だより、生涯学習センター内お知らせコーナーを通したチラシの配布等により情報を提供した。
- 新年やハロウィンなどの行事を活用した福袋や簡易なプレゼントの提供、読書マラソンや図書室マスターなどの取り組みによって、読書活動への意欲づけが図られ、貸出冊数の増加につながっている。

施策の評価

総合評価

A

- アリーナ、和室については、サークルや各講座、企業の研修等、幅広く利用されているが、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた利用者数は、回復傾向にある。
- エントランスホールは、文化財や個展を展示している。また、図書室については図書貸し出し閲覧のほか、中高校生が自主学習する場として利用できている。
- 中島村ホームページや広報、輝ら里内の掲示板、図書だよりなどを通して情報提供を行った。
- 2013年度より実施している読書マラソン、図書室マスターの表彰、お話会などの工夫した取り組みにより貸出人数は前年同程度だった。幼稚園児は定期的に図書室を訪れ、本に触れあう体験活動も恒例化している。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
アリーナパーティション修繕工事	1,045	読書普及推進費	206
駐車場白線引き直し工事	803	図書購入費	802
防犯カメラ・照明器具修繕工事	990	合計	3,846

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
輝ら里利用者数 (村民に対する割合) (%)	目標値	17.5	17.8	18.1	18.4	18.7
	実績値	19.0	26.4			
	達成度	108.6%	148.3%			
輝ら里図書室の貸出冊数 (村民一人あたり) (%)	目標値	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2
	実績値	3.2	3.3			
	達成度	94.1%	91.7%			

今 後 の 取 組

- 基本的な感染症予防対策など適切な衛生管理は、利用者の安全のために今後も引き続き実施する。
- 生涯学習の理念である「誰もが、いつでも、どこでも、学びたいときに学べる」学習づくりのために、住民のニーズを把握し、企画・運営の工夫により学習意欲を高めるプログラムを検討する。
- 住民ニーズは多様であり、多額の財源を伴うものもあるが、生涯学習の拠点施設である「輝ら里」の整備充実に努めていく。
- 新着図書の紹介、展示の工夫や作家の特設コーナーなど、読書に親しんでもらえる企画を工夫する。
- 図書室内のインターネットなどの活用の在り方について今後検討していく。
- 図書カード所有者数について、亡くなった方等を調査して登録者の整理が必要である。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策11 文化財保護と伝統文化の継承
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2024年度の取り組み

- 白山姫神社の磨崖仏周辺の雑木等の伐採や草刈りなどにより、周辺の環境整備に努めた。
- 松崎地区、元村地区、川原田地区、滑津原地区では、コロナ禍の影響が無くなり盆踊りが通常時の開催形式にもどってきている。
- 滑津小学校の授業で、代畑地区汗かき地藏太鼓の体験学習を継続実施。また、吉子川小学校では盆踊り太鼓の体験学習を実施した。
- 福島県立博物館学芸員の協力により、復元品を活用して、小学生を対象とした体験学習を開催した。

施策の評価

総合評価

A

- 雑木等の伐採や草刈りなどによって、文化財の適正な維持管理が出来た。
- 汗かき地藏太鼓を学習発表会で披露できることが、指定文化財の啓発活動につながっている。
- 両小学校での地域の文化である汗かき地藏太鼓、櫓太鼓を子どもたちが体験することにより、地域文化を継承するきっかけとなる。お盆の際に地域の櫓で太鼓を披露する子どもがいる。
- 出土品の複製品等を常設展示することより、文化財への理解を深める教材となる。郷土愛の向上を図るべき小学生の体験学習は、県立博物館の学芸員を講師に招き、その複製品を活用して行っている。

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
文化財維持修繕委託	102		
体験学習事業費	37		
		合計	139

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
伝統文化人材育成講習会 （回/年）	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	1	1			
	達成度	100.0%	100.0%			
四穂田古墳出土品体験学 習（回/年）	目標値	2	2	2	2	2
	実績値	2	1			
	達成度	100.0%	50.0%			

今 後 の 取 組

- 今後も、所有者（地区）と共同し、適切な維持保全に努めていく。
- 小針地区の「さくらまち太鼓」や盆踊り、熊野講、どんと焼き等の地域に根付いた伝統行事が継承されるよう支援に努める。
- これからも復元品等を活用し、体験学習会を継続していく。また、国指定文化財への指定については、学芸員との調査や新たな研究、また、出土品は村で保存する必要があることなど解決すべき課題が多いことから、今後はそのレプリカを PR 活動や体験学習等で有効活用する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策12 生涯にわたるスポーツライフの推進
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2024年度の取り組み

- さわやか中島杯ソフトボール大会は村スポーツ少年団が主体となり実施した。
- 体育協会（ソフトボール協会、野球協会、ゴルフ協会、卓球協会、グラウンドゴルフ協会、バスケットボール協会）が活動を行った。
- 市町村対抗ふくしま駅伝
- 市町村対抗軟式野球大会
- 市町村対抗ソフトボール大会
- 村民グラウンドゴルフ大会
- スポーツ推進委員は、委員の意識及び技術の向上を図りながらスポーツ活動を行い、昨年度スポーツフェスティバルのプログラム等の反省点を令和6年度の企画運営において方向を示し、当日はその変更内容に伴う参加者の誘導など中心的役割をはたしている。
- 体育センターアリーナ警備センサー取替工事、改善センター防犯カメラ設置工事、体育館女子トレイ改修工事、テニスコート改修工事を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 村の各スポーツ団体は、各種大会等に積極的に参加することなどから指導者発掘や後継者育成が進められ、競技の資質向上も図れている。
- スポーツ推進委員は、4年ぶりの開催となったスポーツフェスティバルに事業計画から参画し、また、ふくしま駅伝の大会での支援活動で選手育成等積極的に取り組んでいる。
- スポーツ少年団指導者研修会に参加する保護者は、資格取得のためにスポーツ少年団補助金を有効活用している。
- 改善センター施設の整備計画については、基本設計が作成済みであるが、実施までの間は、適宜維持修繕を行っていく。
- これまで放置されてきたプール施設・洋式庭園部分について、今年度で撤去工事を完了したことから利用者の安全面が確保できた。今回整備した敷地については、今後の維持管理方法を検討する必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
スポーツ少年団補助	483	スポーツフェスティバル	1,899
体育協会補助	703	防犯カメラ設置	561
さわやか中島杯実行委員会補助	130	テニスコート改修	814
市町村対抗ふくしま駅伝補助金	1,700	改善センタートイレ改修	693
市町村対抗軟式野球大会補助	600	体育センターアリーナ警備センサー取 り換え工事	327
市町村対抗ソフトボール大会補助	900		
スポーツ推進委員報酬	157	合計	8,967

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
スポーツ推進委員研修会 (回/年)	目標値	5	5	5	6	6
	実績値	4	5			
	達成度	80.0%	100.0%			
スポーツレクリエーショ ン活動(回/年)	目標値	1	1	1	2	2
	実績値	1	1			
	達成度	100.0%	100.0%			
体育センター、改善センタ ー、グラウンド利用者数 (村民に対する割合)(%)	目標値	33.0	33.0	33.0	34.0	34.0
	実績値	33.4	22.0			
	達成度	101.2%	66.7%			

今後の取組

- 体育協会に加盟している各団体での会員の減少傾向が見られるので活性化を図るための支援を検討する。
- スポーツ活動において、安全に正しく指導できる指導者の育成を目指し、児童館、社会福祉協議会など幅広い年齢に応じたスポーツ活動と連携を図る。
- 改善センターの施設整備は基本設計を理想とするが、対応を急ぐ修繕箇所等を含む箇所を優先し、村民が使いやすいよう必要性に応じた段階的な整備を検討していく。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策13 人材育成の推進
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2024年度の取り組み

- 村民等が自ら計画又は参加する人材育成事業（研修等）を支援するため、事業等に要する費用の一部を補助する「中島村人材育成事業補助金」を実施しているが、今年度において実績はなかった。
- 年度当初の村広報やHPでの周知を行った。
- 人材育成事業として自己研鑽とボランティアをテーマとし、福島県出身の俳優・タレントの「なすび」氏を招へいしセミナーを開催した。
- セミナー内容については、テレビ番組出演時の苦労話やエベレスト登山、福島復興のためのボランティア活動の体験を中心にテーマに即した講演をいただいた。

施策の評価

総合評価 A

- 村広報やホームページで具体的に対象となる研修等を明示し、事業利用につなげる。
- 人材育成セミナーは村内企業や村民へチラシやポスターで周知を行い申込者を増やすことができた。また、セミナーの受講結果（アンケート）について、ほとんどの方が「良かった」との回答であった。
- セミナー参加者については、ほぼ目標人数に達することができたが、セミナーの開催時期や周知の方法について検討する必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
人材育成セミナー	458		
		合計	458

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
人材育成支援事業利用件数（件/年）	目標値	1	2	3	4	5
	実績値	0	0			
	達成度	0.0%	0.0%			

今 後 の 取 組

- 多くの村民に事業を認知してもらえよう周知を図る。また、本事業においては、対象となっていないが資格取得に関する補助の問い合わせもあることから、今後本事業の支給対象とするものの範囲についての検討を行う。
- 受講者アンケートの要望であがったテーマに沿って講師を選定し、充実したセミナーとなるよう努める。
- より多くの村民の方に参加していただけるよう周知に努める。

基本目標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施策名	施策14 健康づくりの推進
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2024年度の取り組み

- 生活習慣病予防・改善のための各種健診・がん検診、妊産婦健診、乳幼児健診を実施したほか、各種健診及び検診の受診勧奨にも努めた。
- 健診結果説明会を開催し、健康に関する正しい知識の普及啓発に努めた。
- 村健康増進計画「健康なかじま21」を策定した。
- 各種健診・がん検診の受診勧奨を実施し、保健指導が必要な者に対して、指導の徹底に努めた。

施策の評価

総合評価

A

- 各種健診・がん検診の受診勧奨、保健指導を実施し、疾病の早期発見・治療に繋げることができた。
- 健康に関する正しい知識の普及啓発と情報提供ができた。
- 受診勧奨に努めたことで、疾病の早期発見・早期治療に繋がられた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
各種健診・がん検診委託料	12,775	健康教育相談委託料	36
妊産婦健診・乳児健診委託料	4,125	未受診者受診勧奨事業	420
乳幼児健診報酬・費用弁償	942	保健指導事業	8
特定健診委託料	4,317	健康増進計画策定業務委託	3,267
後期高齢者健診委託料	1,164	合計	27,054

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
特定健康診査受診率（％）	目標値	44.1	44.2	44.4	44.5	44.7
	実績値	44.1	51.7			
	達成度	100.0%	117.0%			
特定保健指導実施率（％）	目標値	69.8	69.8	69.9	69.9	69.9
	実績値	69.8	65.0			
	達成度	100.0%	93.1%			

今 後 の 取 組

- 1 か月健診費用助成事業を実施し、相談支援の場を拡充する。
- 今後も継続して健診結果説明会を実施していく。
- 健康なかじま 21 を有効活用して村民ひとりひとりの主体的な健康づくりを図る。
- 今後も受診勧奨に努め、受診率向上を目指す。

基本目標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施策名	施策15 豊かなシニアライフ
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2024年度の取り組み

- 令和5年度に作成した第9期介護保険事業・中島村高齢者保健福祉計画の1年目で、計画に基づき事業遂行に努めた。
- 介護予防事業として、健康づくり交流センター輝らフィットにおいて、5月～3月に筋力スマイルクラブを行った。
- 10地区で実施している「ミニデイサービス事業」は健康推進員が中心となり年2回程度各地区公民館で開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染対策のため中止とした。
- 各地区において、住民主体のサロン活動を実施した。
- 介護保険サービスでは補えない支援事業として有償ボランティア「中島よかっぺ助け隊」の活動を実施した。
- 月に1回認知症カフェを開催し、認知症の人が参加する場所作りと認知症の人に対しての理解を深めていく活動を行った。また、村内の小学4年生及び中学2年生に対し、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の正しい知識や認知症の人との付き合い方などについて研修を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 第9期介護保険事業・中島村高齢者保健福祉計画の1年目であったが、介護保険給付費については、計画の数値とかけ離れたサービスも見られたが、おおむね計画通りであった。
- 高齢者保健福祉計画においては、計画通りに進まなかった事業も見受けられたため、計画的な事業遂行に向けて検討していく必要がある。
- 例年より筋力スマイルクラブの参加者が増え、介護予防に繋がったと考える。
- 各地区のふれあいサロンの活動促進及び参加者数増加を目的に、今年度より助成金を交付した。助成金は、サロンで行うイベントの経費や村文化祭に出品する作品の費用などに活用され、サロンの活動促進につながった。
- 有償ボランティア「なかじまよかっぺ助け隊」の利用者数が昨年度よりも増加し、利用件数は2倍以上増加し、有償ボランティア事業が住民に浸透しつつある。また、ボランティア登録者数増加に向け、ボランティア養成講座を実施し9人が登録した。
- 認知症カフェでは、認知症本人が参加していない点が課題である。また、認知症サポーター養成講座を修了した方が活動できるような事業が少ない。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
介護予防ケアマネジメント事業	1,442	ふれあいサロン	66
包括的・持続的ケアマネジメント事業	3,723	生活支援体制整備事業	6,081
筋力スマイルクラブ（65歳以上）	3,674	認知症総合支援事業	1,974
ステップアップ教室	1,267		
在宅医療・介護連携推進事業	550	合計	18,777

事業業績評価指数（KPI）

※「要介護認定推計値」は低ければ低い方が良い。

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
要介護認定推計値（％）	目標値	14.2	14.2	14.1	14.0	13.9
	実績値	15.2	16.2			
	達成度	93.0%	85.9%			
ステップアップ教室参加人数（人/年）	目標値	28	28	29	29	30
	実績値	25	22			
	達成度	89.3%	78.6%			

今後の取組

- 第9期介護保険事業計画及び中島村高齢者保健福祉計画に基づき、3期3年間介護給付費の適正化や適切なサービスの提供を行っていく。
- 健康づくり交流センター輝らフィットを有効に活用し、村民の健康づくりの推進を図る。
- それぞれの事業に関わるリーダー育成、参加者の拡大を図る。また、ふれあいサロンについては村全地区での開催をめざしていきたい。
- 引き続き有償ボランティアの周知、内容の充実を図っていく。
- 認知症本人がカフェに参加できるような声掛け、周知に努める。また、認知症サポーターのさらなる活動に向け、傾聴ボランティアの立ち上げを検討。

基 本 目 標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施 策 名	施策 16 障がい者への支援
施策主幹課	保健福祉課
関 係 課	

2024 年度の取り組み

- 福祉サービス希望者には、村で委託している相談支援事業所がサービス利用計画を作成してもらい、希望通りに合った支給決定を行った。
- 相談支援・活動支援事業所への委託事業によるサービスの提供を行った。

施 策 の 評 価

総合評価 A

- 福祉サービスは希望通りに支給決定を行っている。
- 白河地域で設置している基幹相談支援センター及び各相談・活動支援事業所との連携により、相談支援体制の強化が図られている。

事 業 費 実 績 額

事 業 内 容	事業費 (千円)	事 業 内 容	事業費 (千円)
障害福祉サービス費等	135,495		
相談支援事業	2,823		
		合計	138,318

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
福祉サービスの利用者数 (人/年)	目標値	41	42	43	44	45
	実績値	41	43			
	達成度	100.0%	102.4			
相談支援参加者の満足度 を測るアンケート実施 (回/年)	目標値	-	-	-	-	1
	実績値	-	-			
	達成度	-	-			

今 後 の 取 組

- 適正なサービス利用を行っていく。
- 基幹相談センターを中心とした各事業所等との連携による相談支援体制を継続する。

基本目標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施策名	施策17 見守りの強化・支援
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2024年度の取り組み

- 民生委員協議会、地域包括センター及び社会福祉協議会を活用したネットワーク体制の充実を図る。
- 成年後見制度の理解促進を図り、関係機関向けの研修会を実施した。
- 西郡5市町村(白河市・西郷村・泉崎村・矢吹町・中島村)で構成するしらかわ地域成年後見推進会議を2回開催した。
- 社会福祉協議会を中心とした支援サービスの提供を行った。
- 健康推進員の研修会に合わせて介護予防・家族介護教室を行った。
- 虐待、ひきこもり、生活困窮、生活保護等の相談を受け、民生委員、包括支援センター、県南保健福祉事務所、サポートステーション等と連携しながら、相談活動を実施した。
- 2023年度からひきこもり等自立支援事業委託をアネシス学院と契約を締結している。

施策の評価

総合評価

A

- 民生委員協議会、地域包括センター及び社会福祉協議会を活用したネットワーク体制の充実が図られた。
- 関係機関が研修会に参加したことで権利擁護支援体制の強化を図ることができた。
- しらかわ地域成年後見推進会議では、成年後見制度に関する課題や困難事例を市町村間で共有し、制度に関する理解促進を図ることができた。また、成年後見人の担い手不足が課題となっている。
- 在宅介護事業所を中心としたサービス提供により、家族介護者の負担軽減が図られた。
- 中島村地域包括支援センターの活用により、住民からの介護相談に対応した。
- 介護予防・家族介護教室では、食からはじめるフレイル予防について講演を行い改めて食生活を見直すなど自主的に介護予防に取り組む人が増えるような研修会となった。
- ひきこもり等自立支援事業の利用者は前年度3名だったが、令和6年度は4名の利用があり年々増加している。
- サポートステーションを利用して1名が就職活動中である。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
高齢者世帯訪問事業	31	介護予防福祉用具・住宅改修	722
緊急通報システム	449	介護予防・生活支援サービス事業費	10,293
権利擁護事業	2,019	民生児童委員協議会負担金	130
居宅介護サービス	109,583	ひきこもり等自立支援事業委託	184
居宅介護福祉用具・住宅改修	689	地域密着型介護サービス	19,822
介護予防サービス	9,714	合計	153,636

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
成年後見制度に関する講演会（回/年）	目標値	-	-	1	1	1
	実績値	-	-			
	達成度	-	-			
家族介護教室の実施（回/年）	目標値	1	1	1	2	2
	実績値	0	1			
	達成度	0.0%	100.0%			

今 後 の 取 組

- 見守りネットワーク体制を継続して行う。
- 年々変化する独居高齢者の情報収集及び整理を行う。
- 成年後見制度を必要としている方に早期でアプローチできるよう引き続き支援体制の強化に努める。
- 後見人の担い手不足の解消を目指して、法人後見の立ち上げを推進会議において検討を進める。
- 在宅介護についての確かなサービス提供へつなげ、引き続き家族介護者の負担軽減を図る。
- 中島村地域包括支援センターの活用継続。
- 継続した介護予防・家族介護教室の開催。
- 今後も保健福祉課が窓口となり、各種サービスに繋げていく。
- 各種サービスの PR を行っていく。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策18 地域コミュニティの活性化
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2024年度の取り組み

- 他市町村からの転入者が行政区に加入するよう勧奨案内を役場窓口に設置した。
- 転入手続き窓口にて行政区加入チラシを設置し、広報に努めた。
- 行政区補助金、各役員報償を交付し活動支援を行った。
- ごみ集積所の新規設置・補修に関する助成金事業を開始した。

施策の評価

総合評価

A

- 転入者に対して最寄りの行政区、区長及び行政連絡員を紹介することにより、行政区加入の補助を行っている。
- 各地区への補助金は、各地区とも地域活動に有効活用されている。
- 行政区からの要望事項として挙げられていたごみ集積所の整備事業に関する助成金を開始し、2件の実績があった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
行政区補助金	4,067		
区長、副区長、行政連絡員報償	1,958		
ごみ集積所等整備事業助成金	17	合計	6,042

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
全地区平均行政区加入率 (%)	目標値	72.0	72.1	72.2	72.3	72.5
	実績値	69.8	67.7			
	達成度	96.9%	93.9%			

今後の取組

- 転入者に対して行政区というものを理解して頂き、加入の勧奨を行う。
- 行政区からの要望事項の確認を行いつつ、適宜助成可能な事業への対応を行う。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 19 村民の行政参画
施策主幹課	総務課
関係課	

2024年度の取り組み

●村ホームページトップにパブリックコメント欄のバナーを設置することにより住民から広く意見を募り、行政の公正さの確保と透明性の向上を図った。

施策の評価

総合評価

A

●「子ども子育て支援事業計画」・「健康増進計画」・「中島村デジタル田園都市国家構想総合戦略」についてパブリックコメントを実施し、住民から意見を募り、行政の公正さの確保、透明性の向上を図ることができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
パブリックコメント募集 件数（件/年）	目標値	2	3	3	3	3
	実績値	2	3			
	達成度	100.0%	100.0%			

今後の取組

●庁内で取組を推進するとともに、村広報や HP など様々な媒体を通じて、幅広い年代へ周知を図っていく。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 20 行政サービスのDX
施策主幹課	総務課
関係課	企画振興課

2024年度の取り組み

●中島村 DX 推進基本方針は、近隣自治体の先進計画を参考に、DX 事業を実施する総務課と方針策定を行う企画振興課にて打ち合わせのもと、2024 年 4 月 1 日に策定した。

施策の評価

総合評価

A

●計画通り基本方針を策定した。策定にあたっては、総務課及び企画振興課共同で内容を精査し、各課等に図ったのちに策定した。基本方針は、村ホームページに掲載している。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし	目標値					
	実績値					
	達成度					

今後の取組

●基本方針のもと、2025 年度に「総合戦略」の改訂を行い、村 DX 推進のため各課等にて事業を展開する。
●国や県の方針に併せて適宜見直しを行う。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 21 職員の人材育成
施策主幹課	総務課
関係課	企画振興課

2024年度の取り組み

- 人事評価を会計年度任用職員を含め全職員に実施したことにより、職員の能力、実績等を的確に把握し、組織の活性化を図った。
- 勤務経験年数や新任管理職等役職に応じた研修を必修として実施した。
- マイナンバー等個人情報の扱いについて及びハラスメント研修等社会情勢に応じた研修を実施した。

施策の評価

総合評価

A

- 人事評価における管理者との面談等を通じて、職員ひとり一人が責任を持って自主的・意欲的に業務を遂行できるよう促すことができた。
- 評価者による評価のばらつきは職員の不公平感につながることから、統一した評価基準で実施できるよう、研修等を行う必要がある。
- 各々の職階、職務における研修受講により、自身の立場や役割を認識できている。
- マイナンバー等個人情報の取り扱いなど、職務に必要な知識を得ることができる。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
ふくしま自治研修センター負担金	51		
各種講師謝金	277		
ふくしま自治研修センター研修旅費	107	合計	435

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 人事評価制度の客観性、信頼性、公平性をより一層確保するため、国・県等の機関を参考に充実を図っていくとともに、人事評価の研修について計画する。
- 業務において必要なスキルアップの研修や階級にあわせた研修を計画することにより、行政サービスの向上を図る。
- 対外的に対応する力やハラスメント防止等職場内の環境整備等に引きつづき対応していきたい。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 22 健全な財政の維持
施策主幹課	総務課
関係課	税務課、企画振興課

2024年度の取り組み

- eLTAXの普及・推進（納付書にQRコード等を印刷し、キャッシュレス納付可能とした）
- 口座振替納付の継続的推進
- コンビニエンスストア納付（身近なコンビニで24時間支払い可能）
- 「ふるさとチョイス」「JREMALL（ジェイアールイーモール）ふるさと納税」に加え、「さとふる」「楽天ふるさと納税」への掲載を開始した。また、「ふるさとチョイス」の連携サイト「auPAY ふるさと納税」「セゾンのふるさと納税」「KABU&ふるさと納税」、「さとふる」の連携サイト「Yahoo!ふるさと納税」にも掲載され、昨年度より多くのポータルサイトに掲載した。
- 民間業者が独自に行っている「ふるさと納税を必ずすべき自治体（ふるさと本舗アワードSILVER賞）」の1つに選ばれた。

施策の評価

総合評価

A

- 納税者の利便性の向上及び徴収率向上を目的に、コンビニ収納に加えて、eLTAX（納税者がインターネット等を利用して税金を電子的に納付する方法）を導入した結果、令和6年度は、特別徴収を除いた納付方法以外（現年度分）では、コンビニ収納8%、eLTAX（共通納税）収納26%、口座振替39%と合わせて73%が納付書以外の方法で税金を納入していることとなった。
- 2023年度の寄附件数で半分を占めていた返礼品「福島牛」各種について、地場産品基準に抵触する恐れがあるとして取扱いを中止した。その結果、2023年度より寄附額は約50万円となった。
- ふるさと納税に係る経費削減を心掛けた結果、積立金は2023年度より約10万円程度にすることができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
地方税共同機構負担金	313	ふるさと納税基金積立	1,505
コンビニ収納業務委託費	303		
ふるさと納税申込サイト広告料	50	※ふるさと納税寄附	2,363,000円
ふるさと納税申込サイト手数料等	95		
ふるさと納税業務委託	708	合計	2,974

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
経常収支比率(3ヶ年平均) (%)	目標値	83.5	83.2	82.9	82.6	82.2
	実績値	84.6	秋確定			
	達成度	101.3%				
健全化判断比率 (3ヶ年平均)(%)	目標値	8.8	8.8	8.9	8.9	9.0
	実績値	8.0	秋確定			
	達成度	90.9%				

今後の取組

- コンビニ収納、eLTAX、口座振替を推進するするなど利便性の向上については、費用対効果を念頭に置きつつ、今後は、クレジットカードやペイジー、QRコード決済など電子決済による収納代行、会計室窓口にセミセルフレジの導入など、様々な収納環境の整備を検討する必要がある。
- ふるさと納税ポータルサイトは2024年度から増減することなく掲載を続ける。
- 費用を要さない各種イベントに積極的に参加するほか、基準に則ったPR活動を行う。
- 魅力的なお礼の品の種類を増やしていけるよう情報収集を行う。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 23 男女共同参画
施策主幹課	総務課
関係課	

2024年度の取り組み

●中島村の行政付属機関等における各種委員会・団体等の女性委員の登用について、積極的な登用を啓発する通知を発出した。

施策の評価

総合評価

A

●組織への女性参画を促すことにより、引続き目標水準に近い比率を達成することができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
女性委員（役員）比率（%）	目標値	26.8	27.2	27.6	28.0	28.4
	実績値	24.2	25.8			
	達成度	90.3%	94.9%			

今後の取組

●性別にとらわれることなく男女が共に政策・方針決定の場に参画することが重要であるため、委員会等における積極的な女性委員の登用を促していく。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 24 防災体制の充実
施策主幹課	住民生活課
関係課	建設課

2024年度の取り組み

- 毎月1日朝7時に、防災無線による安全広報を実施した。
- 小中学校での防災教室を実施し、防災意識の向上を図った。
- 防災行政無線の更新を行った。緊急速報メール（エリアメール）や SNS との連携が行えるよう改修をして幅広く情報発信ができるよう構築を行った。
- 広報紙に防災特集の記事を掲載し意識の向上を図った。
- 2021 度にハザードマップを全戸配布しており、令和6年度は希望者へ窓口で配布を行い、村民へ啓発活動を行った。
- 県発注の急傾斜地崩壊対策事業を進める。
- 広報紙防災特集記事の中で、各家庭での必要な災害備蓄品リストを掲載し意識の向上を図った。
- 発災時に避難所等で配布ができるよう防災用備蓄食料を購入した。

施策の評価

総合評価

A

- 広報誌での防災関係記事の掲載、中島村登録制メールおよび防災・災害情報発信アプリにより防災意識が向上した。
- 希望者へハザードマップを配布し、啓発活動を行うことができた。
- 県発注の急傾斜地崩壊対策事業を進めた。
- 2024 年度は新しい自主防災組織の設立はなかった。
- 広報紙へ各家庭での必要な災害備蓄品リストを掲載したことで備蓄品の必要性について意識の向上が図れた。
- 発災時に避難所等で配布ができるよう防災用備蓄食料を購入し有事の際に備えた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
メール配信システム使用料・回線使用料	528		
防災・災害情報発信アプリ使用料	106		
防災行政無線更新	88,000	合計	88,634

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 今後も資料を配布し防災の呼びかけを継続する。
- 防災行政無線と SNS の連携により幅広く防災情報の発信ができるよう取り組む。
- 登録制メール及び防災・災害情報発信アプリの登録者数増加を目指す。
- 村民に避難所指定施設を周知していく。
- 必要に応じた防災情報発信をしていく。
- 県で泉川の洪水浸水想定区域の作成を行ったため、令和 7 年度にハザードマップの更新を行い、村民に配布を行う。
- 引き続き急傾斜地崩壊対策事業を推進する。
- 自主防災組織設立を各行政区に働きかけていく。
- 協定締結数を毎年度 1 つずつ増やしていくことを目標とする。
- 今後も広報紙やホームページ等に防災関係の情報を掲載していく。
- 毎年度、一度は広報紙へ自主備蓄啓発の記事を掲載する。
- 賞味期限や使用期限が切れた備蓄品を更新していく。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 25 消防体制の確立
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2024年度の取り組み

- 2024年度は3名の方が中島村消防団へ入団した。
- 消防団員確保のため、県南地方振興局と共に村内の企業に訪問し、要望活動を行った。
- 施設の老朽化に伴い、小針地区旧屯所の解体を行った。
- 消火栓施設の点検委託を行い、性能試験等を行った。
- 歩道設置工事に伴い、町畑地区の地上式消火栓を地下式消火栓へ変更した。
- 各種訓練
 - 8月：台風時期を前に水防訓練を実施
 - 11月：秋の火災予防運動に伴う防御訓練を実施
 - 1月：世界文化財防火デーにあわせて文化財防御訓練を実施
 - 3月：春の火災予防運動に伴う防御訓練を実施

施策の評価

総合評価

A

- 新入団員が少なかった。
- 2024年度は松崎地区へ地上式消火栓1基を設置した。
- 村内の消火栓点検を行い、どのような不具合があるか確認した。
- 各種訓練
 - 8月：代畑地区の阿武隈川沿いで水防訓練を実施
 - 11月：秋の火災予防運動に伴う防御訓練 松崎地区で実施。
 - 1月：世界文化財防火デーにあわせて文化財防御訓練 代畑地区で実施。
 - 3月：春の火災予防運動に伴う防御訓練 浦原地区で実施。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
松崎地区地上式消火栓設置	1,661	町畑地区地下式消火栓設置	1,265
小針地区屯所解体	1,210		
水利点検業務	167	合計	4,303

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
消防団新入団員数（人/年）	目標値	5	5	5	5	5
	実績値	4	3			
	達成度	80.0%	60.0%			
防災・防衛訓練等実施回数 （回/年）	目標値	4	4	4	4	4
	実績値	4	4			
	達成度	100.0%	100.0%			

今 後 の 取 組

- 新入団員が増えるよう広報、啓発活動を行っていく。
- 老朽化により修繕が必要な施設の修繕を今後も行っていく。
- 消防自動車、消防用小型ポンプ等の機器の計画的更新が必要であり、更新する。（2025 年度消防車両更新（第 2 分団第 1 部（浦原））、消防用小型ポンプ 2 基更新予定）
- 上記 4 つの訓練と 6 月頃に消防用機器の操作指導会等の開催を予定している。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 26 防犯・交通安全の充実
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2024年度の取り組み

- 防犯灯を村内3箇所に新設し、防犯対策を行った。
- 防犯診断を実施して、「防犯診断カード」、「火の用心」などのチラシを配布し注意喚起を行った。
- 防災無線放送により、なりすまし詐欺や車上荒らしの注意喚起を行った。
- 交通安全運動期間等の新聞広告や交通安全関係チラシの各戸配布など、交通安全の広報活動に取り組んだ。また、交通指導車を使い、村防犯パトロール隊による広報活動を行った。
- 交通安全運動期間中、村内主要道路2箇所と1事業所にのぼり旗を設置した広報活動及び吉子川小学校による交通安全・防犯パレードを行い交通安全注意喚起を行った。
- 浦原地区の見通しの悪い交差点1箇所、交通事故があった滑津原地区1箇所にカーブミラー設置を行った。

施策の評価

総合評価

B

- 防犯灯を村内3箇所に新設し、防犯対策を行った。
- 維持管理は計画通り実施された。
- 防犯診断により、村民に対し注意喚起を行うことができた。
- 交通安全注意喚起看板等を設置し通行者の交通安全意識向上が図れた。
- 交通安全期間中の広報活動により交通安全意識向上が図れた。
- カーブミラー設置を行い、事故発生防止に務めた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
交通安全対策工事	319		
防犯灯新設工事	789		
		合計	1,108

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
防犯灯新規設置個所数 (箇所/年)	目標値	10	10	10	10	10
	実績値	9	3			
	達成度	90.0%	30.0%			

今 後 の 取 組

- 防犯灯を毎年度 10 箇所新規設置を目標に取り組んでいく。
- 防犯灯について、各行政区の新規設置希望等を確認し、継続して整備していく。
- 防犯灯の新設及び維持管理については、今後も各行政区と連携し整備する。
- 防犯カメラについては設置が必要な場合に検討する。
- 今後も防犯診断を実施する。
- 白河警察署からの情報を早急に周知する。
- 今後も事故多発箇所に交通安全対策工事を実施を検討する。
- 福島県公安委員会管轄である信号機、道路規制等については、随時要望活動を行う。
- 交通安全運動期間中の広報活動を継続していく。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 27 医療体制の確保
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2024年度の取り組み

- 休日当番医・歯科医療の体制確保に努めた。
- 2023年度より、福島県で救急安心センターの運営を開始し協定を継続して締結している。#7119(救急電話相談)のチラシ配布や広報紙に#8000(小児夜間電話相談)と共に掲載している。
- 救急医療体制の確立を含め医師確保するため、白河厚生総合病院、白河病院、会田病院へ支援を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 2023年度より開始した#7119が30名以上の村民が利用した。前年より増加している。
- 白河病院は、支援の成果があり医師確保に繋がった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
第二次救急医療運営費負担金	1,381	私的二次救急医療機関支援(白河病院)	1,080
初期医療対策事業(在宅当番医制事業)	220	救急医療体制維持に係る助成金(会田)	1,300
初期医療対策事業(休日歯科診療事業)	65	医療体制の維持・充実(厚生病院)	1,050
小児平日夜間救急医療事業負担金	189	小児及び周産期医療体制確保(厚生)	2,000
救急電話相談運営負担金	260	合計	7,545

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 引き続き、#7119 のPRを、広報紙等を活用しながら行っていく。
- 併せて小児平日夜間救急医療のPRも行っていく
- 医療体制の維持・充実のための白河厚生総合病院への支援金が、2023 年度で終了予定だったが、3 年間の追加支援が決定した。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 28 風評被害払拭
施策主幹課	住民生活課
関係課	企画振興課

2024年度の取り組み

- 測定機器の定期メンテナンスを行い、住民からの要望に迅速に対応できる体制を整えた。
- 村民からの測定依頼に対して県南農林事務所及び福島県と連携し、測定対応を実施。
- 首都圏において村産品の販売等を行い、村産品の魅力をPRするとともに風評被害払拭に資する事業を行う団体を支援した。

施策の評価

総合評価

A

- 測定機器のメンテナンスを行うことで、村民がいつでも測定できる環境作りを行った。
- 測定検体に関して、野菜以外の自家消費のものに対して柔軟に対応を行った。
- ブランド・イメージ回復支援事業について、2団体（企業）において首都圏でのPRを実施した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
自家消費野菜等放射線量測定事業	440		
ブランド・イメージ回復支援事業	418		
		合計	858

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 村民から測定依頼があれば、都度対応を速やかに柔軟に行う。
- 風評被害払拭のため、村産品のPR事業を実施する団体の支援をしていく。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 29 道路の整備
施策主幹課	建設課
関係課	学校教育課

2024年度の取り組み

- 県道へアクセスする際の円滑な交通の促進が期待される幹線道路下記路線について、継続事業を実施している。
 - ・滑津後山線改良事業
全体延長L=1,300m 2024年度：改良工L=34m
- 道路管理者や警察と連携し、毎年通学路安全推進会議を開催。学校からの通学路における要望や危惧している点を実見し、道路管理者等に改善を要望するとともに、学校において交通安全教育を実施した。
- 上記点検により確認された要対策箇所について、補助事業を活用し、歩道整備事業に着手した。
(二子塚町畑線歩道整備事業 全体延長L=890m R6年度：改良工L=391m)
- 県道棚倉矢吹線整備の中島北工区早期完了に向け、県と一体となって事業の推進を図った。
- 県道泉崎石川線歩道新設の事業化に向け、県へ要望した。
- 村管理の道路・橋梁について、定期的なパトロールを実施し、必要箇所の維持補修を行い、安全を確保した。
- 降雪時に除雪作業を実施した。

施策の評価

総合評価

A

- 県道へアクセスする際の円滑な交通の促進が期待される幹線道路下記路線について、補助事業を活用し、改良工を実施した。
 - ・滑津後山線改良事業（全体延長L=1,300m 2024年度：改良工L=34m）
- 通学路安全推進会議を通して、各関係機関との情報共有や道路状況の改善が図られている。
- 通学路の要対策箇所について、補助事業を活用し、歩道整備事業を行った。
(二子塚町畑線歩道整備事業 全体延長L=890m R6年度：改良工L=391m)
- 県道棚倉矢吹線整備の中島北工区早期完了に向け、県と一体となって事業の推進を図った。
- 県道泉崎石川線歩道新設の事業化に向け、県へ要望した。
- 村管理の道路・橋梁について、定期的なパトロールを実施し、必要箇所の維持補修を行い、安全を確保した。
- 降雪時に除雪作業を実施し、安全を確保した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
幹線道路の整備(滑津後山線)工事	6,215	道路・橋梁の維持管理	1,777
幹線道路の整備(滑津後山線)補償	257	除雪作業	13,132
歩道整備 二子塚町畑線	41,402	農道改良工事	142,520
農道整備測量設計業務委託	47,529	合計	252,832

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
村道舗装率 (%)	目標値	94.9	94.9	94.9	94.9	94.9
	実績値	94.9	94.9			
	達成度	100.0%	100.0%			
農道長寿命化事業計画に基づく農道舗装率 (%)	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績値	61.0	80.0			
	達成度	67.8%	88.9%			

今後の取組

- 引き続き補助事業を活用し、幹線道路(滑津後山線)の早期完了を目指し事業を進めていく。
- 今後も各関係機関の協力を得ながら通学路安全推進会議や交通安全教育を実施し、通学路の安全向上と事故防止に努める。
- 新たに中島松倉線及び滑津川原田線の歩道設置事業に着手していく。
- 県道泉崎石川線歩道新設の事業化に向け、県へ要望していく。
- 年次計画に基づき、引き続き農道整備を進めていく。
- 村管理の道路・橋梁について、定期的なパトロールを実施し、必要箇所の維持補修を行い、安全確保に努める。
- 降雪時には除雪作業を実施し、安全確保に努める。

基 本 目 標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施 策 名	施策 30 簡易水道施設の維持管理
施策主幹課	建設課
関 係 課	

2024 年度の取り組み

- 水質検査業務委託を実施した。
- 本年度については機械設備の交換はなかった。
- 漏水調査を実施したことで、漏水箇所の把握に努めた。
- 第三水源及び浄水場等の維持管理業務委託を実施した。

施 策 の 評 価

総合評価

A

- 水源、浄水場、使用水栓の水質について、必須項目と任意項目の検査を実施し、水質の安全性の確保に努めた。
- 本年度については機械設備の交換はなかった。
- 漏水箇所を把握し、補修工事を実施したことで有収率の低下を防いだ。
- 第三水源及び浄水場等の維持管理業務委託を実施したことで、専門的な見地から適切な維持管理を実施することができた。また、施設を常時運転することで、有事の際にも使用できる体制を確保した。

事 業 費 実 績 額

事 業 内 容	事業費 (千円)	事 業 内 容	事業費 (千円)
水質検査業務委託	1,754		
元村・岡ノ内・小針地区漏水調査業務委託	968		
簡易水道施設運転管理業務委託	8,778		
		合計	11,500

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
水道本管（石綿管）の更新（%）	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績値	13.6	13.6			
	達成度	90.7%	90.7%			

今 後 の 取 組

- 引き続き水質の検査を実施し、水質の安全性の確保に努めていく。
- 機械設備を計画的に交換し、安定的に水を供給できる体制を確保していく。
- 漏水箇所の把握及び水道本管の更新工事を検討していきたい。
- 施設の維持管理業務委託を実施し、適切な維持管理に努めていきたい。

基 本 目 標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施 策 名	施策 31 農業集落排水処理施設の維持管理
施策主幹課	建設課
関 係 課	

2024 年度の取り組み

- 集落排水事業の適切な運用のため、施設の維持管理委託を行った。
- 各処理施設において、機器の更新を実施した。
- マンホール及び管路埋設部分の道路舗装の補修を実施した。

施 策 の 評 価

総合評価

A

- 処理施設維持管理を外部に委託することで、専門的な見地から適切な処理施設の維持管理に努めた。
- 各処理施設において、機器の更新を実施した。
- マンホール周辺の舗装面及び管路の補修工事を行ったことで、雨水等の混入を減らすことができた。

事 業 費 実 績 額

事 業 内 容	事業費 (千円)	事 業 内 容	事業費 (千円)
農業集落排水事業維持管理業務委託	18,568	吉子川地区道路補修工事	51,000
施設維持補修工事	20,789		
管路埋設部路面補修工事	10,401	合計	100,758

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 今後も適切な農業集落排水処理施設の維持管理に務める。
- 各処理施設において計画的に機器の更新をしていくことで、安定的な処理運転に努める。
- 滑津原地区、吉子川地区処理場の機能強化事業に向けて工事を行う。
- 不明水の流入が多い滑津原・吉子川地区について、機能強化事業で管路補修を行う。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 32 童里夢公園の整備・活用
施策主幹課	建設課
関係課	

2024年度の取り組み

- 公園維持管理における目視点検を定期的を実施した。また、遊具点検が法令化されたことにより年一回の点検を行った。
- 経年劣化により街灯が点灯してなかったので改修工事を行った。また、車止め開閉委託ができなくなったため、駐車場の防犯カメラ設置工事を行った。
- ヨカッペ時計やトイレ、噴水設備などの修繕を行い、公園の維持管理に努めた。
- 公園維持管理の中で、簡易的な遊歩道の補修を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 設置から 20 年以上経過する遊具も存在するため、定期的に点検を行い、修繕等検討していく必要がある。
- 駐車場等街灯の改修工事を行い、夕方以降駐車場等の街灯が点灯することができた。
- 駐車場に防犯カメラ設置し、未然に犯罪等を抑止力を図ることができた。
- 腐敗している木製階段や柵がみられるので、計画的に修繕・改修を行う必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
修繕料（遊具関係）	0	ローポール街灯修繕工事	1,430
修繕料（公園設備）	1,006	遊歩道（修繕費）	27
遊具点検	308		
街灯修繕・防犯カメラ設置工事	3,569	合計	6,340

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 遊具点検が法令化されたことから 2024 年度以降は毎年遊具点検を実施する。
- 劣化がみられる遊具等の計画的な修繕や改修を行う。
- 街路灯の修繕や防犯カメラの設置を行い、防犯機能を高める。
- 来園者に居心地よく安全に利用してもらえるよう、施設の維持管理に努めていく必要がある。
- 劣化がみられる遊歩道や木製階段等について、計画的に修繕・改修を行っていく。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 33 農村公園及び地区公園の整備
施策主幹課	建設課
関係課	

2024年度の取り組み

●定期的にパトロールを行い、危険箇所等の点検に務めた。

施策の評価

総合評価

A

●経年による劣化がみられる地区が存在するため、適宜地域住民から情報収集を行い、適切に管理する必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今後の取組

●行政区からの要望等を参考に、撤去・改修を検討する。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 34 住宅環境の整備
施策主幹課	建設課
関係課	

2024年度の取り組み

- 耐震診断者派遣事業の公募を行った。
- 長寿命化計画に基づき、修繕工事を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 耐震診断者派遣事業の公募を行った。今年度の申請数は0件だった。
- 長寿命化計画に基づき、修繕工事を計画通りに実施した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
耐震診断者派遣業務	312		
村営住宅修繕工事設計業務委託 (長寿命化計画)	25,553		
		合計	25,865

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 引き続き耐震診断者派遣事業の公募を行う。
- 広報紙等を活用し、派遣事業の周知を進める。
- 長寿命化計画に基づき、修繕工事設計業務及び修繕工事を行う。
- 今後も適切な村営住宅の維持管理に務める。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 35 地域交通体制の充実
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2024年度の取り組み

- 広報紙にてデマンド交通の案内を掲載した。
- 敬老会参加者及び中島ふれあいサロン、介護予防サービス利用者に、乗合タクシーについてのアンケートを実施。

施策の評価

総合評価 A

- 高校生の利用者が減少しており、今後利用者の人数に合わせたバスの配車・巡回コース等見直しを実施した。
- 村外のスーパーマーケット等、各種施設の乗降場所を現在より増やし、乗合タクシーの利便性を図ってほしいとの回答が多く見受けられた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
新多目的交通システム補助金	20,000		
		合計	20,000

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
乗合タクシー利用者数 (人/年)	目標値	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300
	実績値	4,273	2,928			
	達成度	147.3%	97.6%			

今 後 の 取 組

- 広報紙やホームページ等により、住民への周知を図り、利用者の拡大を図る。
- 乗合タクシーの乗降場所の見直しを実施し、利用者の拡大を図る。
- アンケート結果を基に、乗降場所の追加を含め検討していく。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 36 環境への取り組み
施策主幹課	住民生活課
関係課	企画振興課

2024年度の取り組み

- 9月の行政文書配布の際に白河地方広域市町村圏整備組合から提供のあったごみ減量化に関するチラシの全戸配布を行い、村民のごみ減量化・リサイクルに関する意識の向上を行った。
- 生垣整備事業について、広報紙を活用し広く村民に周知した。
- 記念樹交付について、広報紙を活用し広く村民に周知した。
- 上期は9月、下期は3月に記念樹の交付を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 一部を除き、ごみを適切な袋に入れて捨てることによりリサイクルの促進、ごみの減量化を図った。
- チラシを配布することにより西白河管内のごみの発生量を認識して頂き、リサイクルへの関心を深めた。
- 生垣整備事業補助を実施したが、申請件数は0件だった。
- 出生（13件）・新築（3件）に対する記念樹交付を実施。前年度比で、申請者数は増加した。
- 近年は少子化や、新築住宅の敷地面積が減少し、記念樹交付希望者が減少しつつある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
記念樹交付事業	79		
		合計	79

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
リサイクル率（%）	目標値	10.2	11.4	12.6	13.8	15.1
	実績値	9.2	10 月確定			
	達成度	90.2%				

今 後 の 取 組

- 外国人の方にもごみの分別がわかりやすいような広報活動を行う。
- 白河地方広域市町村圏整備組合と連携し、ごみ減量・リサイクルに関する広報活動を行う。
- 生垣整備事業について、広報、ホームページにより周知し、住宅の新築があった方などへ個別通知を行う。
- 記念樹交付事業について、出生、新築において対象者漏れが無いよう周知及び確認に努める。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 37 移住・定住の促進
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2024年度の取り組み

- 今年度新たに移住・定住それぞれの要素を1つにしたパンフレットの作成を行った。
- 村イメージキャラクターを掲載することで手にとった方に読みやすい印象をもってもらえるよう工夫を行った。
- 各種イベント等での配布を行った。
- 新たに県外から移住し村で住宅を取得した者に対し 10 万円を交付する「中島村移住支援金」を開始した。
- 国・県事業である「中島村移住・定住支援事業」を引き続き実施した。

施策の評価

総合評価

A

- 村で実施する支援事業を中心に掲載しており、移住者等に必要な情報をわかりやすくまとめることができた。
- イベント等での配布を行い、中島村について多くの人に知っていただけた。
- 「中島村移住支援金」、「中島村移住・定住支援事業」共に相談は数件あったが、実績は無かった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
パンフレット作成業務委託費	394		
		合計	394

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
移住者数（人/年）	目標値	7	8	9	10	11
	実績値	8	11			
	達成度	114.3%	137.5%			

今 後 の 取 組

- 各年度で内容の更新を行い、読みやすくわかりやすいパンフレットづくりに努める。
- 「中島村移住・定住支援事業」の内容を県要領に合わせ改正する。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 38 移住・定住環境の整備
施策主幹課	建設課
関係課	

2024 年度の取り組み

- 空き家バンク導入に向けて、説明会や民間企業との打合せを通して情報収集を行った。
- 販売促進を図るため、近隣市町村へのチラシ折込により広報活動を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 2016 年度に空き家調査を行い、村空き家計画を策定し、約 30 件の空き家が確認されている。当時空き家認定された家屋のうち、現在は管理されている家屋があることから、現在の移住・定住に活用できる空き家の実数を把握するためには再度調査が必要となる。
- 今後空き家バンク導入が必要となった際に速やかに導入できるよう、情報収集を行えた。
- 2024 年度については契約数が 1 件であったが、問い合わせが数件あった。村外認知度が低いので、より周知できる手段を検討していく必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
原山販売チラシ	297		
		合計	297

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 村空き家対策計画を基に、空き家の現状把握を行い、村による管理が可能な空き家については、空き家バンク等を活用し、企画振興課移住担当と密に連携を図り、移住支援等に活用できるよう検討する。
- 他市町村の取り組みや、連携企業からの情報等を参考に、導入が必要となった際に速やかに導入できるようにする。
- 原山分譲地の残り区画の早期完売を目指す。
- 若い世代・子育て世代の定住化を図るための施策を検討する。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 39 土地の有効利用
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2024年度の取り組み

- 国土利用計画見直しに向けた計画準備を行った。
- 令和元年度に農業振興地域整備計画の総合見直しが完了し、令和2年度より新しい農業振興地域整備計画を運用した。
- 年2回、農用地利用計画変更申出の受付を行った。
- 令和7年度からの森林整備計画（10年間）を策定した。

施策の評価

総合評価

A

- 国土利用計画の見直しに向け、業務委託による作業行程や費用等の確認を実施した。
- 農用地利用計画変更申出（用途区分変更）を2件受け付け、8月受付分（1件）は変更完了、2月受付分（2件）は、令和7年8月末までに変更見込みである。
- これまでの森林整備計画をもとに内容の見直しを行い、新たな森林整備計画を策定した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
農業振興地域の土地利用 状況（％）	目標値	97.1	97.2	97.3	97.4	97.5
	実績値	99.4	99.4			
	達成度	102.4%	102.3%			

今 後 の 取 組

- 令和7年度より開始する地域計画、既存の中島村農業振興地域整備計画、中島村第6次総合振興計画などの運用状況をみて、計画の見直しが必要な場合は迅速に対応できるよう準備を進める。
- 計画の変更（用途区分変更）にかかるものについて、農用地における営農活動等に支障があるかを判断し、申出による農用地利用計画の変更手続き（年2回受付）を継続する。
- これまでの森林整備計画をもとに内容の見直しを行い、新たな森林整備計画を策定した。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 40 農業の支援・振興
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2024年度の取り組み

- 新規就農者や後継者等の確保・育成のため、国や県、JA等の関係機関と連携し、就農相談や経営に対する支援等を行った。また、既認定新規就農者に安定した経営を実践していくために経営状況に関して助言等の支援を行った。
- 令和6年度において農地の利用等に関する意向調査、座談会等を経て地域計画の策定が完了した。
- 農地の貸し手に対し農地流動化推進助成金を支給した。
- 旧農業経営基盤強化促進法の利用権設定を推進した。

施策の評価

総合評価

A

- 令和6年度においては、就農にかかる1件の相談があり、支援制度等について福島県へつないだが年齢要件等で該当しなかった。なお、当該相談者は、今後農地を継承し規模拡大も視野に農業を開始する予定。今後も情報提供、就農相談体制等の充実を図り、新規就農者等の確保に努める。
- 中島村における当初の地域計画については、現況での耕作者をもとに農地の利用を定めた形式のものとなっている。農家減少等を見据え、地域農家、農業関係機関との意見交換を交えながら今後の計画づくり（計画更新）を進めていく必要がある。
- 農地の所有者が積極的に認定農業者等に農地を貸し出し、農地流動化が進み農地の利用集積につながった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
地域計画策定推進緊急対策事業	1,198		
農地流動化推進助成金	638		
		合計	1,836

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
新規就農者数（人/年）	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	0	0			
	達成度	0.0%	0.0%			
認定農業者数（人/年）	目標値	75	75	75	75	75
	実績値	73	71			
	達成度	97.3%	94.7%			

今後の取組

- 令和7年度よりJAによる新規就農者（経営継承者）確保のための支援制度（農業経営スタートアップ支援パッケージ）が開始され、新規就農者の確保に向け連携強化を図る。
- 地域計画に定める地域農業を支える農家（担い手等）として、大規模経営農家等（認定農業者）のほか、中小規模農家、新規就農者等への支援策を充実させる。
- 農地の流動化を推進し、認定農業者等に農地の利用集積が進むよう引き続き事業を実施する。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 41 有害鳥獣への対応
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2024年度の取り組み

- 猟友会に業務を委託し有害鳥獣の捕獲・駆除を行った。
- 農家から多く被害相談を受けているハクビシンやタヌキに関して、猟友会に情報提供を行い、わなの設置を行った。
- 猟友会会員の減少対策として、2025年度から第一種銃猟免許取得補助を開始できるよう、要綱整備等を行った。
- 有害鳥獣の被害、目撃情報等の情報整理をおこなった。

施策の評価

総合評価

A

- 農家からの被害状況を受け、猟友会へ情報をつなぎ素早く対応することができた。
- 昨年度の被害や目撃件数が多い地域を中心にわなの設置を行うことで短い実施期間の中でもより効果的に事業を実施することができた。
- 猟友会会員の減少対策として、2025年度から第一種銃猟免許取得補助を開始できるよう、要綱整備等を行った。今後、補助制度の周知を行い猟友会体制の支援につなげる。
- 猟友会で捕獲・駆除を行っているが、村内全体の被害状況や生息状況の調査等を行うことが出来ていない。
- 村全体や地域ごとの対策を行うことが出来ていないのが現状である。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
有害鳥獣捕獲業務委託	602		
		合計	602

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 農作物被害の相談が多いため、猟友会と協力し今後も被害防止に努める。
- 農作物被害の件数を減らすよう努める。
- 今後は猟友会とも情報を共有し体制の整備を行う。
- 猟友会への駆除依頼期間外でのハクビシン、アライグマ等の有害鳥獣の被害報告があることから年間を通じた対応についての検討を進める。

基 本 目 標	6 地域の活力を活かしたむら
施 策 名	施策 42 企業誘致と雇用の確保
施策主幹課	企画振興課
関 係 課	

2024 年度の取り組み

- 県内外企業に情報提供するため、県が作成する企業ガイドに掲載や県からの誘致場所照会への情報提供を行った。
- 村内の関係企業の本社訪問（県外 4 社）を実施した。
- 村内関係企業の本社（4 社）及び村内事業所（2 社）を訪問し、情報交換等を行った。

施 策 の 評 価

総合評価

A

- 村内の関係企業の本社を訪問（県外 4 社）し、情報交換等を行った。
- 企業誘致を図るための県への情報提供等を行った。
- 企業誘致や拡大を図るためには、企業訪問を積極的に行い情報の共有や提供をすることにより、連携を強化する必要がある。

事 業 費 実 績 額

事 業 内 容	事業費 (千円)	事 業 内 容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
村内企業訪問回数（回/年）	目標値	5	7	8	10	11
	実績値	2	6			
	達成度	40.0%	85.7%			

今後の取組

- 企業訪問による情報交換等を進め、新たな企業誘致や工場等の設置（増設）の支援につなげる。
- 村内企業の訪問について、積極的に行い連携を強化することにより、雇用の創出や既存企業の事業拡大等を推進する。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 43 商業の支援
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2024年度の取り組み

- 起業された方へ各種支援制度の情報提供等を行った。また、令和6年度において起業された方（キッチンカー）へ村イベントの参加をお願いした。
- 中島村商工会事業助成のため、補助金を交付した。
- プレミアム商品券販売事業の補助、なかじま輝ら×2秋まつりの開催を支援した。

施策の評価

総合評価

A

- 令和5年度に起業された方について、現在（一社）産業サポート白河によるサポート（定期相談等）が実施されている。今後、新規起業者の情報を把握し、関係機関と連携したサポートを進める。
- 商工会事業への助成により、各種活動の活性化が図られた。
- プレミアム商品券発行補助したことにより、商工業の活性化が図られた。
- なかじま輝ら×2秋まつりの開催支援。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
商工会補助金	5,000		
プレミアム商品券発行補助	2,930		
秋まつり補助金	3,000	合計	10,930

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 魅力ある商店づくりを行う事業者支援を積極的に行い、特色のある商店の育成や誘致、村内外からの集客を目指すため地域商業の活性化を図る。
- 今後も商工会への助成を継続実施し、村商工振興に寄与していく。
- プレミアム商品券発行補助については、運用継続について検討していく。
- イベントの開催において、今後も商工会と積極的に関わり実施していくが、なかじま輝ら×2 秋まつりにかかる準備等については、現在、企画振興課が中心に進めているため、今後、商工会を主体とした企画にしていく。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 44 観光基盤の整備
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2024 年度の取り組み

- 観光振興により交流人口を図るため、県南観光推進協議会等の関係機関と連携し、各種PRイベントに積極的に参加し、村の魅力発信と地域の活性化に努めた。
- 新たな観光資源として「狛犬」をピックアップし、県南9市町村合同での企画（おしゃべりこまいぬ探訪の旅）を実施した。中島村においては「川田神社」「羽黒神社」の2箇所。
- 村特産品のトマト甘酒の材料提供を行った。トマト甘酒は、村ふるさと納税の返礼品となっているほか、県内多くの直売所や道の駅で販売、製造事業所のインターネット販売でも取り扱っている。
- 村の米を使った米粉麺を製作し、観光イベント等で配布を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 令和6年度において、県南9市町村連携（県南観光推進協議会）としてのイベント合同参加、新たな県南地域の観光パンフレットを作成。県南地域での観光客の巡回により、来村する観光客の増加が期待される。
- トマト甘酒は、様々な箇所でPRを図ることができた。
- 米粉麺については、商品化に向け試食品等の配布によるPRを継続する。
- 令和6年度において起業者による商品開発（和菓子）が進んでいたが、商品化までに至らなかった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
イベント出展旅費	3	トマト甘酒ラベル作成	149
PRグッズ消耗品費	410	トマト甘酒原材料購入費	38
イベント駐車場使用料	2	米粉麺原材料購入費	14
定住自立圏6次化負担金	10	合計	626

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
観光誘客入込数 (人/1～12 月)	目標値	19,300	19,600	19,900	20,200	20,500
	実績値	17,388	16,443			
	達成度	90.1%	83.9%			

今 後 の 取 組

- 村独自のイベントのみでは魅力に欠けるため、県や県南 9 市町村連携でのイベント等に参加し PR してきたが、新たな観光資源の発掘や開発を図る必要がある。令和 7～9 年福島県開催の JR 東日本の観光イベント DC（ディストネーションキャンペーン）や県南観光推進協議会主催のイベント等を通じて中島村の PR につなげる。
- 既存のトマト甘酒の PR を継続し、新たな特産品開発につなげる情報収集や支援を行う。
- 米粉麺については、地域企業と連携しながら商品化（特産品化）を検討する。